

地域おこしのプロフェッショナル 仕事の流儀

vol.2 浦幌町 鹿戸麻衣子 さん



~PROFILE~

浦幌町 鹿戸 麻衣子 さん

出身：東京都

前職：ホテルのレセプション

趣味：旅行

1 地域おこし協力隊になったきっかけは？

前職に就く前は、アルバイトをしながら絵の制作活動を続けていました。

浦幌町に来るきっかけも制作活動の延長線上で、東京にいたころに出展したアートコンテストの審査員の方に、私にトコムロラボで制作してみればと声をかけてもらい、去年の6月末頃から3週間くらい浦幌町で滞在制作をしました。

そこで初めて地域おこし協力隊の制度を知り、もし気に入ったなら制度を使って仕事をしてみないかと話をいただき、協力隊に応募し、去年の10月に着任しました。



2 日々の活動内容や活動を通じて感じていることを教えてください

トコムロラボでイベントやワークショップの企画運営、広報を主に担当しています。

トコムロラボができたきっかけは浦幌スタイルという教育システムの延長線上で、若者の仕事の創造の場ということでした。この空間は決まりが無いので、その軸がぶれずに、どう肉付けしていくかというところです。私は美術畑出身なので、今までの経験をいかした色を添える、文化的なことができる場所にしていきたいということで、色々なイベントを計画しています。

冬にはクリスマスマーケットを実施しました。何名かの作家さんや、飲食をやっているユニット





▲トコムロラボで飼っているニワトリ

に来てもらって、この場を使ってイベントをやりました。たくさんの町の方、町外の方に来てもらってトコムロラボを知ってもらうきっかけになりました。

他にも、地元の方からいただいた松ぼっくりを使ってネズミを作ってみようというようなワークショップをやったり、トコムロラボに図書コーナーを作ったりというのもしています。

やったらやった分だけ結果が返ってくるのを感じています。小さいことだけど、イベントをやりますと

いうときに、こちらからこういうイベントがあるので来てくださいと会いに行ったりすると、応えてくださる方が多くて。浦幌の方は本当に心がオープンで私のやることを面白がってくれる方が多い印象です。

ラボを使って何をするかは私たちに委ねられているので、明確な目標が無い分大変なことも多く、自分たちで作り上げなくてはいけないので、大変だけどやりがいはとてもある担当だなと思っています。

一年たって考えるのは、次の人が入ってくるときにより良い状況で渡したいという気持ちが芽生えてきている。私たちが協力隊として町の人に認知されているのは、前の協力隊が頑張ったというのが続いているので、それを引き継ぐ形で、もっとより良い関係性を築けたらなと感じています。

今の私の課題は、協力隊になったばかりのころは、一人でも多くの町の方に顔を覚えていただくというのもあって、やっていくうちに知り合いも増えてきたけど、一年たってもまだ会ったことのない人がいっぱいいるので、また**初心に戻って、会ったことのない人のところに足を運びたい**と思っています。

3 浦幌町の魅力について教えてください。

人が良いというのが一番。本当に好奇心旺盛な方が多いし、あたたかく見守ってくださっているので、それに答えられるようにしていきたいと思っています。

物理的な部分で、**釧路にも行けるし、帯広にも行ける。両方の真ん中であって結構どこに行くにもいい場所**だと感じています。

海もあって、山もあるので、住むにはすごくいい場所にあるなと感じますし、1時間で空港に行けるので、交通の便も良いように思います。

浦幌町に限らず、十勝全体でいえることですが、景色が良いと思います。



▲ニワトリ小屋を近所の方に習いながら作りました。